

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年6月27日(2023.6.27)

【公開番号】特開2021-182989(P2021-182989A)

【公開日】令和3年12月2日(2021.12.2)

【年通号数】公開・登録公報2021-058

【出願番号】特願2020-88642(P2020-88642)

【国際特許分類】

A 63 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 5/04 631

【手続補正書】

【提出日】令和5年6月19日(2023.6.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を複数備え、
複数の前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、複数の前記可変表示部の表示結果組合せに応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

遊技者にとっての有利度が異なる複数種類の設定値のうちからいずれかの設定値を設定する設定手段と、

導出を許容する表示結果組合せを決定する事前決定手段と、

前記事前決定手段の決定結果が複数種類の特別決定結果となったときに、遊技者にとって有利な有利決定を行うことが可能な有利決定手段と、 30

特別条件の成立に基づいて、前記事前決定手段の決定結果が前記複数種類の特別決定結果のうちのいずれかの特別決定結果となったときであっても前記有利決定が行われない特定状態に制御可能な特定状態制御手段と、

前記特定状態において、前記事前決定手段の決定結果が前記複数種類の特別決定結果のうちのいずれかの特別決定結果となったときに当該特別決定結果に対応する表示結果の導出を回避する回避制御を実行可能な回避制御手段と、を備え、

前記複数種類の特別決定結果は、第1特別決定結果と、当該第1特別決定結果よりも前記有利決定が行われる割合が高い第2特別決定結果とを含み、

前記事前決定手段の決定結果が前記第1特別決定結果となる割合は、前記複数種類の設定値のうちのいずれの設定値が設定されているかに応じて異なり、

前記事前決定手段の決定結果が前記第2特別決定結果となる割合は、前記複数種類の設定値のうちのいずれの設定値が設定されているかに関わらず同じであるか、前記事前決定手段の決定結果が前記第1特別決定結果であるときよりも設定値間の差が小さく、

前記スロットマシンは、

表示結果を導出させるために操作される導出操作手段と、

前記導出操作手段の操作に基づいて表示結果を導出させる制御を行う手段であって、前記事前決定手段の決定結果が前記第2特別決定結果となったときに前記導出操作手段が特別操作態様で操作されたら特別表示結果組合せを構成する表示結果を導出させ、前記導出操作手段が前記特別操作態様と異なる操作態様で操作されたら前記特別表示結果組合せを 50

構成しない表示結果を導出させる導出制御手段と、をさらに備え、

前記回避制御手段は、前記特定状態において、前記事前決定手段の決定結果が前記第1特別決定結果と前記第2特別決定結果のうち前記第2特別決定結果となったときに、前記特別操作様と異なる操作様に対応する操作情報を報知することにより、前記特別表示結果組合せの導出を回避する前記回避制御を実行可能である、スロットマシン。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

10

【0008】

(A) 各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を複数備え、複数の前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、複数の前記可変表示部の表示結果組合せに応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

遊技者にとっての有利度が異なる複数種類の設定値のうちからいずれかの設定値を設定する設定手段と、

導出を許容する表示結果組合せを決定する事前決定手段と、

前記事前決定手段の決定結果が複数種類の特別決定結果となったときに、遊技者にとって有利な有利決定を行うことが可能な有利決定手段と、

20

特別条件の成立に基づいて、前記事前決定手段の決定結果が前記複数種類の特別決定結果のうちのいずれかの特別決定結果となったときであっても前記有利決定が行われない特定状態に制御可能な特定状態制御手段と、

前記特定状態において、前記事前決定手段の決定結果が前記複数種類の特別決定結果のうちのいずれかの特別決定結果となったときに当該特別決定結果に対応する表示結果の導出を回避する回避制御を実行可能な回避制御手段と、を備え、

前記複数種類の特別決定結果は、第1特別決定結果と、当該第1特別決定結果よりも前記有利決定が行われる割合が高い第2特別決定結果とを含み、

前記事前決定手段の決定結果が前記第1特別決定結果となる割合は、前記複数種類の設定値のうちのいずれの設定値が設定されているかに応じて異なり、

30

前記事前決定手段の決定結果が前記第2特別決定結果となる割合は、前記複数種類の設定値のうちのいずれの設定値が設定されているかに関わらず同じであるか、前記事前決定手段の決定結果が前記第1特別決定結果であるときよりも設定値間の差が小さく、

前記スロットマシンは、

表示結果を導出させるために操作される導出操作手段と、

前記導出操作手段の操作に基づいて表示結果を導出させる制御を行う手段であって、前記事前決定手段の決定結果が前記第2特別決定結果となったときに前記導出操作手段が特別操作様で操作されたら特別表示結果組合せを構成する表示結果を導出させ、前記導出操作手段が前記特別操作様と異なる操作様で操作されたら前記特別表示結果組合せを構成しない表示結果を導出させる導出制御手段と、をさらに備え、

40

前記回避制御手段は、前記特定状態において、前記事前決定手段の決定結果が前記第1特別決定結果と前記第2特別決定結果のうち前記第2特別決定結果となったときに、前記特別操作様と異なる操作様に対応する操作情報を報知することにより、前記特別表示結果組合せの導出を回避する前記回避制御を実行可能である。

(1) 各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、

前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシン(たとえば、スロットマシン1)において、

遊技者にとっての有利度が異なる複数種類の設定値のうちからいずれかの設定値を設定する設定手段(たとえば、メイン制御部41による設定値を設定する処理)と、

50

導出を許容する表示結果を決定する事前決定手段（たとえば、メイン制御部41による内部抽選を行う処理）と、

前記事前決定手段の決定結果が複数種類の特別決定結果（たとえば、弱チエリー当選、強チエリーリブ当選）のうちのいずれかの特別決定結果となったときに、遊技者にとって有利な有利決定（たとえば、A Tを付与する決定、上乗せ決定）を行うことが可能な有利決定手段（たとえば、メイン制御部41によるA Tを付与する決定、上乗せ決定を行う処理）と、

特別条件（たとえば、エンディング状態への移行が決定する条件）の成立に基づいて、前記事前決定手段の決定結果が前記複数種類の特別決定結果のうちのいずれかの特別決定結果となったときであっても前記有利決定が行われない特定状態（たとえば、エンディング状態）に制御可能な特定状態制御手段（たとえば、メイン制御部41によるエンディング状態に制御する処理）と、

前記特定状態において、前記事前決定手段の決定結果が前記複数種類の特別決定結果のうちのいずれかの特別決定結果となったときに当該特別決定結果に対応する表示結果の導出を回避する回避制御を実行可能な回避制御手段（たとえば、メイン制御部41による回避制御を実行する処理）と、を備え、

前記複数種類の特別決定結果は、第1特別決定結果（たとえば、弱チエリー当選）と、当該第1特別決定結果よりも前記有利決定が行われる割合が高い第2特別決定結果（たとえば、強チエリーリブ当選）とを含み、

前記事前決定手段の決定結果が前記第1特別決定結果となる割合は、前記複数種類の設定値のうちのいずれの設定値が設定されているかに応じて異なり（たとえば、図9の変形例）、

前記事前決定手段の決定結果が前記第2特別決定結果となる割合は、前記複数種類の設定値のうちのいずれの設定値が設定されているかに関わらず同じであるか、前記事前決定手段の決定結果が前記第1特別決定結果であるときよりも設定値間の差が小さく（たとえば、図9の変形例）、

前記回避制御手段は、前記特定状態において、前記事前決定手段の決定結果が前記第1特別決定結果と前記第2特別決定結果のうちの前記第2特別決定結果となったときのみ、当該第2特別決定結果に対応する表示結果の導出を回避する前記回避制御を実行可能（たとえば、図11(c3)）である。

10

20

30

40

50